

「社会調査士」資格について

社会調査士とは？

私たちは、意識するにせよしないにせよ、TV、Internet、新聞、雑誌などで日々大量の情報にさらされて生活しています。そしてその「情報」の中には、「世論」、内閣や政党の支持率、TV番組の視聴率など、様々な「社会調査」の結果が多く含まれており、マスメディアは常時これら「社会調査」の結果を報道しています。

にもかかわらず、こうした「社会調査」がどのように行われるのか、またそうした「調査結果」をどのように受容すれば良いのかは、案外知られていません。たった3,000人くらいに質問した結果を、「世論」と見なすことができるというのは、一体どうしてなのでしょう？

こうした社会にあって、社会調査を行うための正しい知識と技術を習得した人材の育成は急務です。そうした知識と技術は、調査を行う立場の人にとってのみならず、日々「調査結果」に接している多くの人々にとっても、「メディア・リテラシー(Media Literacy)」の一環として非常に重要なものです。

資格の運営は？

社会調査士資格制度は、日本教育社会学会、日本行動計量学会、日本社会学会の三学会の連携のもと、2003年秋に発足しました。発足にあたっては、三学会とは独立に社会調査士資格認定機構が組織され、カリキュラム認定や資格認定を行ってきました。

その後認定機構は、2008年12月に「一般社団法人 社会調査協会」として改組し、三学会から組織的にも独立しました。現在は資格制度の運営に加えて専門誌の発行や社会調査の充実・発展の為に広い社会貢献にも力を注いでいます。

お茶の水女子大学では、2005年4月より新入学生を対象として社会調査士資格への対応を開始しました。

いい加減な「調査結果」に騙されない批判的な思考(Critical Thinking)ができると同時に、全ての調査を安易に否定するニヒリズムにも陥らない、成熟した知性を涵養すること。この目標の為に構想されたのが「社会調査士」です。証拠に基づいた(evidence-based)思考は全てのリサーチ・リテラシー(Research Literacy)の基礎であり、人々の考え・意識・価値観を適切に知る事は、民主主義的な政策形成や制度設計の基盤です。public health(公衆衛生)や学力の階層間格差の究明にも社会調査が必須です。

2004年5月に第1回の資格認定が行われて以来、既に全国で約45,546名がこの資格を取得しています(2024年10月現在)。社会調査士認定科目の開講を認可された大学は本学を含めて203大学にのぼります(2024年度)。本学での資格取得者は2007年以降379人に達しました(2024年6月1日現在)。

本学にて現在主として運営に関与しているのは、文教育学部人間社会科学科の応用社会学講座、教育科学講座、人文科学科の地理学講座、生活科学部人間生活学科の生活社会科学講座、心理学科、及び文教育学部のグローバル文化学環です。

また、学部レベルの資格である「社会調査士」以外に、大学院レベルの「専門社会調査士」資格にも、2008年4月より認定科目の開講を開始しました。専門社会調査士資格課程を運営しているのは、全国でも69大学(2024年10月現在)しかありません。

資格制度の詳細についてもっと知りたい方は、一般社団法人・社会調査協会(旧:社会調査士資格認定機構)のウェブサイトをご覧下さい。各種手続やスケジュール、資格取得者一覧や対応大学一覧などが分かります。→ <http://jasr.or.jp/>
<http://www.jasr.or.jp/students/>
社会調査協会の学生向け案内サイト

本学の窓口は文教育学部 人間社会科学科 応用社会学講座(連絡責任者 杉野 勇 sugino.isamu@ocha.ac.jp)です。最新情報は応用社会学講座ウェブサイトから。 <http://www.li.ocha.ac.jp/ug/hss/socio/coursemenu/researcher.html>

お茶大案内 学部・大学院 入試情報 教育・研究 産学連携・社会貢献 留学・国際交流 図書館 研究所・センター 附属学校園

トップページ > 文教育学部 > 人間社会科学科 > 社会学コース > 社会調査士



新2年生以上で資格取得のおおよその見通しが立った人は、必ず早めに連絡責任者にコンタクトして下さい。今年度初頭の社会調査士資格説明会を下記の日時に行います。関心のある方は是非御出席下さい。在学生も歓迎します。

2025年4月7日(月)15:30~16:30@共通講義棟3号館104及びZoom併用
(確定情報は、ポータルサイト■教務関連■その他資格取得「4/7(月)開催【社会調査士資格説明会】」を必ず確認。)

必要な単位は？

「社会調査士」資格を取得する為には、以下の【標準カリキュラム】の科目を履修し、大学を卒業する(学士の学位を取得する)必要があります。A～G それぞれのカテゴリーの中からいずれか一科目を選んで履修します。E と F はいずれか一方のカテゴリーだけで構いません。また、G カテゴリーについては 2 科目合わせて履修して初めて要件を充たすものがあります。つまり、6 カテゴリー・6 ないし 7 科目の履修が必要となります。

このうち、今年度入学生の方に直接関係するのは現代社会論、人間科学論、社会調査の設計と実施、応用生活統計学(1)(2)などですが、資格取得を考えている方は全体を参考にして長期的な予定を立てて下さい*1。

正式な資格取得は卒業時に申請する事になりますが、就職活動などで資格取得見込みの公式の証明を必要とする場合の為に、一定の条件を満たせば「社会調査士(キャンディデイト)」認定証の申請・取得も可能です。申請時期は **2 年次以上** の 6 月と 10 月の年 2 回です。その条件は、A～G の全 6 カテゴリーのうち 3 カテゴリー以上を申請時に単位取得済みである事、それに申請時に履修中である科目を加えた合計が 5 カテゴリー以上である事、です。取得を考慮して授業を履修した人は、3 年生になったら必ず単位取得状況をチェックして連絡責任者に連絡して下さい。

【社会調査士 標準カリキュラム】

定められた科目の種類	2025 年度 本学で開講する対応科目(科目名は新入学生用)
A. 社会調査の基本的事項に関する科目	人間科学論 (文教育学部・人間社会科学科・学科共通):1 年以上 現代社会論 (文教育学部・人間社会科学科・学科共通):1 年以上
B. 調査設計と実施方法に関する科目	社会調査の設計と実施 (文教育学部・人間社会科学科・社会学コース):1 年以上 教育社会学特殊講義 (文教育学部・人間社会科学科・教育科学コース):1 年以上
C. 基本的な資料とデータの分析に関する科目	応用生活統計学(1)(2) (生活科学部・人間生活学科・生活社会学講座):1 年以上 ※ 調査士申請の為に、応用生活統計学の(1)と(2)は必ず同一年度に組合せて履修する事
<p>応用生活統計学は履修制限があります。1 生活科学部人間生活学科の学生。2 文教育学部人間社会科学科社会学主プログラム選択者。3 「社会調査士」を志望する者。 3 の場合は、「履修登録締め切り日」より以前に、「社会調査士」資格取得希望の旨、生活科学部人間生活学科生活社会学講座助手室(本館 301)に申請すること。</p>	
D. 社会調査に必要な統計学に関する科目	地理学分析基礎演習Ⅱ (文教育学部・人文科学科・地理学コース):2 年以上 社会統計学基礎 (文教育学部・人間社会科学科・社会学コース):1 年 <small>※新設科目</small> 社会統計学Ⅰ (生活科学部・人間生活学科・生活社会学講座):2 年以上 心理学統計法・基礎(心理学統計法) (生活科学部・心理学科):2 年以上
E. 量的データ解析の方法に関する科目	社会統計学Ⅱ(1)(2) (生活科学部・人間生活学科・生活社会学講座):2 年以上 ※ 調査士申請の為に、社会統計学Ⅱの(1)と(2)は必ず同一年度に組合せて履修する事 心理学統計法・発展 (生活科学部・心理学科):2 年 <small>※新設科目</small>
F. 質的な分析の方法に関する科目	フィールドワーク方法論 (文教育学部・グローバル文化学環):1 年
G. 社会調査の実習を中心とする科目	生活調査法 (生活科学部・人間生活学科・生活社会学講座):2 年以上 生活社会調査実習 (生活科学部・人間生活学科・生活社会学講座):2 年以上 ※ 生活調査法と生活社会調査実習は原則として同一年度に組合せて履修する事
(G 科目は実習的要素の強い科目なので、履修人数を制限することがあります。予め御了承下さい。履修計画に支障を来す場合には連絡責任者まで御相談下さい。)	社会調査法 (文教育学部・人間社会科学科・社会学コース):2 年以上

*1 上の表に掲げたのは今年度開講科目です。次年度以降は科目の削除や追加などの変更が有り得ます。科目認定は各年度ごとなので、科目名が同じなら毎年認定科目になるとは考えないで下さい。また、隔年開講の科目も少なくありません。本学での過去の開講実績については応用社会学講座 website から「社会調査士」の頁を御参照下さい。

【参考】大学院博士前期課程で今年度開講される「専門社会調査士」認定科目

定められた科目の種類	本学大学院人間文化創成科学研究科で開講する対応科目
H. 調査企画・設計に関する演習(実習)科目	研究方法論コースワーク(量的調査法) (ジェンダー社会科学専攻)
I. 多変量解析に関する演習(実習)科目	多変量解析演習 (人間発達科学専攻応用社会学コース)
J. 質的調査法に関する演習(実習)科目	研究方法論コースワーク(質的調査法) (ジェンダー社会科学専攻)

*1 上の表に掲げたのは今年度開講科目です。それぞれのカテゴリーが必ずしも毎年度開講される訳ではなく、I は隔年開講です。履修可能な年度に漏れなく履修しておく事を強く推奨します。

「専門社会調査士」の資格要件は、①社会調査士資格の保有、②専門社会調査士科目設置大学(機関)で、標準カリキュラム H～J に対応した科目の単位取得、③社会調査結果を用いた研究論文(修士論文を含む)の執筆、④修士修了、です。

「社会調査士」資格を先に取得していなくても、社会調査士資格と専門社会調査士資格それぞれの必要科目を並行して履修し、二つの資格を同時に申請する事が出来ます。その場合は、社会調査士資格の G 科目の履修は免除になります。

具体的な手続きは？

正規の「社会調査士」資格を取得する為には、大学の学部を卒業する事(学士学位)が要件です。資格申請を行うのは卒業した後の4月初めであり、資格証明書が届くのは6月です。

しかし、一定の条件を満たせば、「私は『社会調査士資格』を取得する見通しが立っている」ということを(資格を認定している)社会調査協会から認証して貰う事が出来ます。歴史の浅い資格で一般の認知度もまだ低いため、在学中からこのキャンディデイト認定を受けておく便利な場合があります。このキャンディデイト申請は、2年次以降の7月と10月に行えます。キャンディデイト申請の審査手数料が~~¥16,500~~¥14,300かかり、その後無事に全ての要件を充たす事が出来たら、卒業時に正規資格への変更手続きを行います(手数料¥5,500)。キャンディデイト申請を行わずに卒業時に初めて資格申請を行う場合は審査手数料¥16,500のみです。キャンディデイト申請を行う場合は手続きが二回必要となり、費用もトータルで~~¥16,500~~ ¥3,300高くなりますが、その分(最大で)2年半(2年次10月～卒業時)ほど有効な公式の認証を得る事が出来るので検討の価値有ります。

2015年度より、大学が教育組織会員として年会費を支払う代わりに、学生個人が支払うキャンディデイト申請の審査手数料は割引適用になりました(割引はキャンディデイト申請の審査手数料のみ)。その結果、キャンディデイト申請を行う場合と行わない場合のトータルの手数料支出の差額も¥3,300と割安になります。大学から在学生に対する補助に等しいので、条件を満たした人は是非御活用下さい。

	キャンディデイト申請(2年次以降)	正規資格申請(卒業時)
2年次	6月(7月) 申請手続 ↓ 10月 認定結果通知	10月 申請手続 ↓ 12月 認定結果通知
3年次	6月(7月) 申請手続 ↓ 10月 認定結果通知	10月 申請手続 ↓ 12月 認定結果通知
4年次	6月(7月) 申請手続 ↓ 10月 認定結果通知	10月 申請手続 ↓ 12月 認定結果通知
		3月末 申請手続 ↓ 6月 認定結果通知

2018年度より、申請作業の一部がウェブ登録・申請となりました。

【重要】

例年、認定科目や認定条件について誤解をしている学生がいます。履修計画を誤り無く立て、申請手続きを無事に円滑に進める為にも、資格取得を考えている人は、2年生ないし3年生になったら一度、履修状況と計画等を連絡責任者に連絡・相談する様にして下さい。

【専門社会調査士の申請】

専門社会調査士の正規資格の申請時期は学部の「社会調査士」資格の申請時期の3月末と同じです。社会調査協会のサイトを参照して必要書類を自分で整え、なるべく早め(申請年度の2月頃)に連絡責任者に連絡して下さい。

これまでの資格取得状況

[2024年度卒業生] 2025年4月に、2024年度卒業生11名、卒業生・修了生等2名が資格を申請している。

社会調査士

文教育学部人文科学科		生活科学部人間生活学科	
比較歴史学コース	0名	生活文化学講座	0名
地理学コース	2名	生活社会科学講座	3名
文教育学部言語文化学科		生活科学部心理学科	0名
中国語圏言語文化コース	0名		
文教育学部人間社会科学科			
社会学コース	4名		
教育科学コース	3名		
グローバル文化学環	0名		
博士前期課程人間発達科学専攻	0名	博士前期課程ジェンダー社会科学専攻	1名
博士後期課程人間発達科学専攻	0名	博士後期課程ジェンダー学際研究専攻	0名
博士後期課程比較社会文化学専攻	0名		

専門社会調査士

博士前期課程人間発達科学専攻	0名	博士前期課程ジェンダー社会科学専攻	2名
博士後期課程人間発達科学専攻	0名	博士後期課程ジェンダー学際研究専攻	0名
博士後期課程比較社会文化学専攻	0名		

[2023年度卒業生] 2024年6月に、2023年度卒業生18名、卒業生・修了生等2名が資格を取得した。

社会調査士

文教育学部人文科学科		生活科学部人間生活学科	
地理学コース	6名	生活文化学講座	0名
		生活社会科学講座	6名
		生活科学部心理学科	2名
文教育学部人間社会科学科			
社会学コース	4名		
教育科学コース	1名		
グローバル文化学環	0名		
博士前期課程人間発達科学専攻	0名	博士前期課程ジェンダー社会科学専攻	1名
博士後期課程人間発達科学専攻	0名	博士後期課程ジェンダー学際研究専攻	0名
博士後期課程比較社会文化学専攻	0名		

専門社会調査士

博士前期課程人間発達科学専攻	0名	博士前期課程ジェンダー社会科学専攻	1名
博士後期課程人間発達科学専攻	0名	博士後期課程ジェンダー学際研究専攻	0名
博士後期課程比較社会文化学専攻	0名		

社会調査士資格取得者合計(2024年6月現在、社会調査士379名、専門社会調査士38名。)

社会調査士

文教育学部人文科学科		生活科学部人間生活学科	
地理学コース	24名	生活文化学講座	1名
哲学・倫理学・美術史コース	3名	生活社会科学講座	141名
比較歴史学コース	4名	(旧)発達臨床心理学講座	8名
文教育学部言語文化学科		生活科学部心理学科	5名
中国語圏言語文化コース	1名	生活科学部人間・環境科学科	1名
文教育学部人間社会科学科			
社会学コース	99名	理学部物理学科	2名
教育科学コース	18名	科目等履修生	3名
(旧)心理学コース	28名	大学院生	33名
グローバル文化学環	7名		
文教育学部芸術・表現行動学科			
舞踊教育学コース	1名		

専門社会調査士

博士前期課程人間発達科学専攻	10名	博士前期課程ジェンダー社会科学専攻	16名
博士後期課程人間発達科学専攻	6名	博士後期課程ジェンダー学際研究専攻	5名
博士後期課程比較社会文化学専攻	1名		